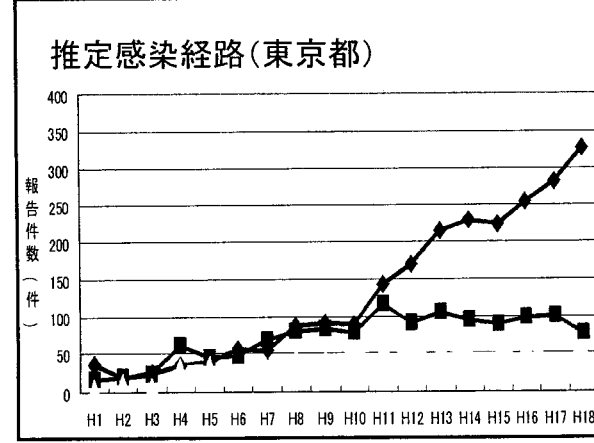
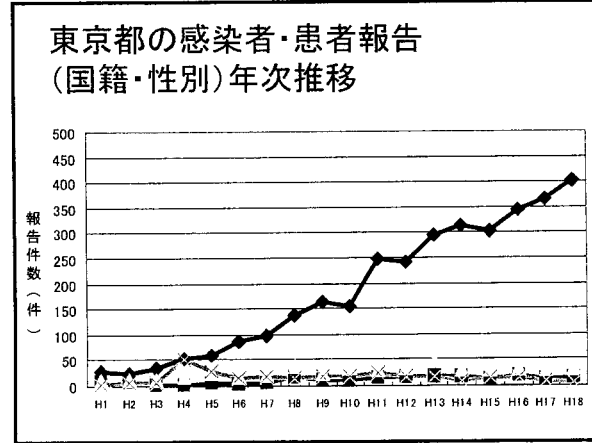
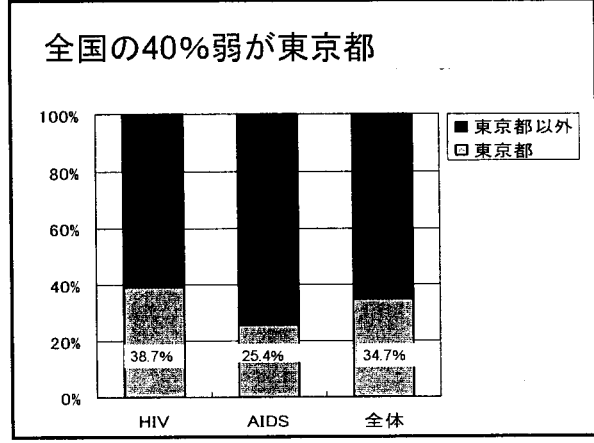
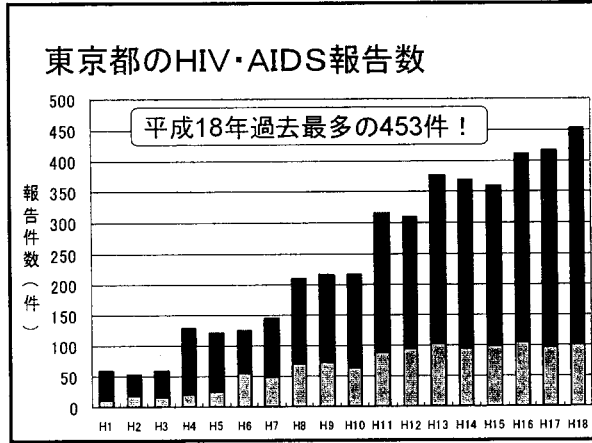
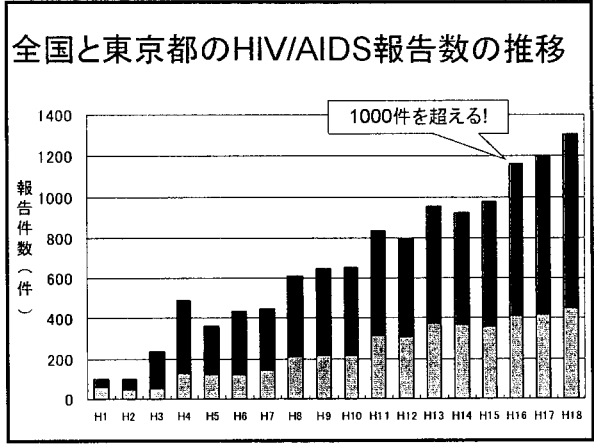
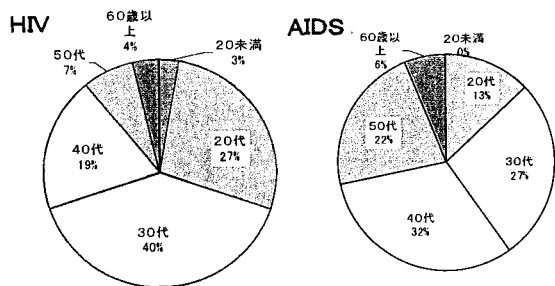


# 東京都のエイズの現状と対策

東京都福祉保健局  
健康安全室  
エイズ・新興感染症担当  
野原永子



### 年齢別HIV/AIDS(平成18年)



20歳代のHIV感染者・AIDS患者は、10歳代に感染したことも考えられる

### 東京都エイズ対策の目標

- (1) 感染拡大の防止
- (2) 医療確保と感染者支援
- (3) 偏見のない社会づくり

### 東京都エイズ施策の体系

- 1 普及・啓発活動の強化
- 2 相談・検査体制の充実
- 3 医療体制の整備
- 4 療養支援体制の整備
- 5 調査・研究の充実

### 普及・啓発活動の強化

- 1) 広報活動など
- 2) エイズ予防月間キャンペーン
- 3) 学校教育の場で
- 4) 家庭・地域社会で
- 5) 職域で
- 6) 青少年・同性愛者など

### エイズ啓発拠点事業

「ふおー・ていー」

豊島区「AIDS知ろう館」

若者がエイズ・性感染症について主体的に考え、学び交流する啓発拠点

for Tokyo の teen以上の若者へ

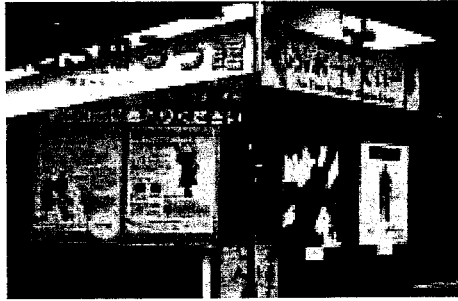
4T(4つのT)  
Teen Together

### 「ふおー・ていー」活動内容

木・金・土・日 15時～20時(平成18年度)

- 資料・情報の提供
- ワークショップ
- 相談・カウンセリング
- アウトリーチ(地域に積極的に啓発)
- イベント(ポスター展等)
- 若者の自主的活動を支援

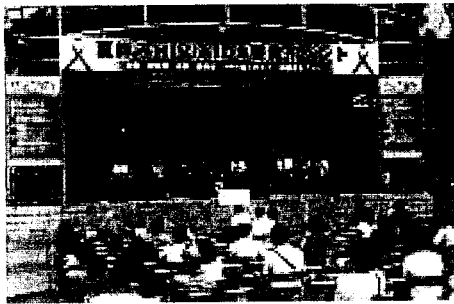
### 「ふおー・ていー」入り口



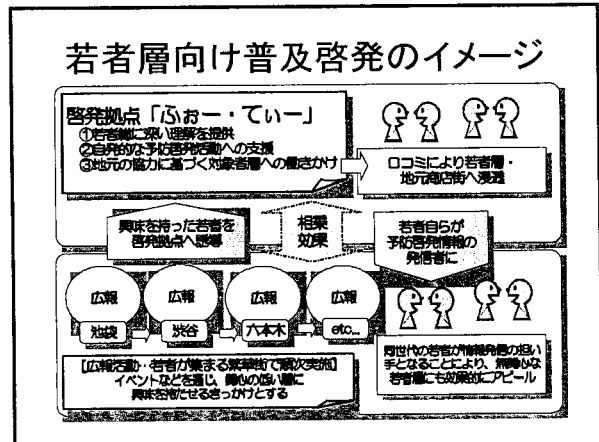
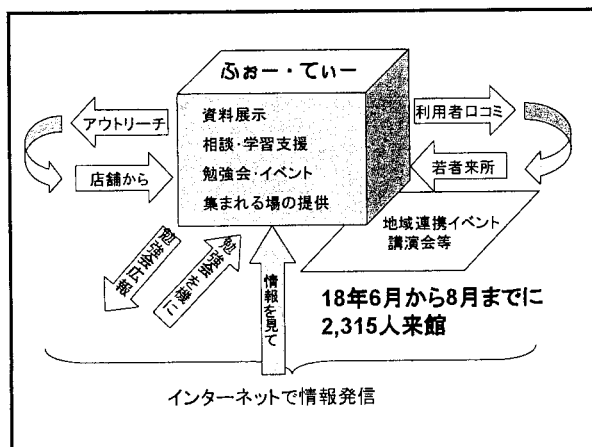
### 若者によるワークショップ



### 夏休み啓発イベント



### 夏休み啓発イベントでの ブース出展

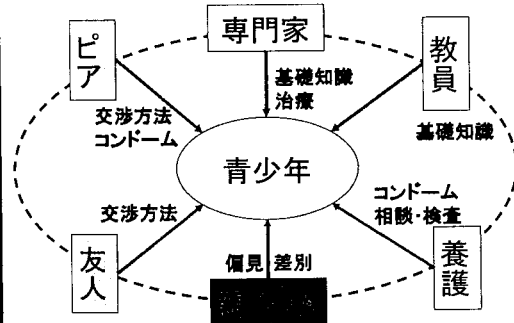


## ピア・エデュケーション

ピア (peer) = 仲間、同胞  
 ピア・エデュケーターが、仲間に働きかける  
 若者へ 若者から  
 情報提供・予防啓発  
 若者と創る地域活動

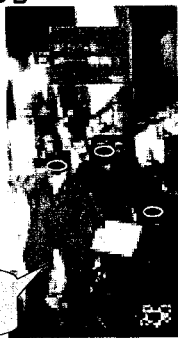


## 関係者全員が連携して



## 繁华街(新宿等)における NPOと連携した予防啓発

- ・ バナー・雑誌広告
- ・ 予防啓発グッズ作成・アウトリーチ
- ・ 勉強会 (LT Lounge)
- ・ 17年度 8回438名



NPOによるバーなどへのアウトリーチ

## よし、検査に行こう！

繁华街に集まる青少年に検査普及フライヤーを配付して検査を受けるよう促す



## 相談・検診の充実

東京都エイズ電話相談  
 03 - 3292 - 9090

月～金 9:00～21:00  
 土、日、祝日 14:00～17:00

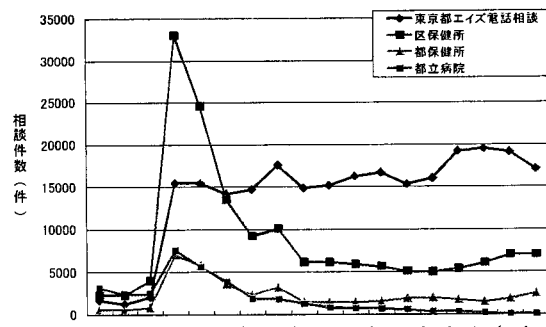
HIV検査(無料・匿名)

区・都保健所(性感染症検査も可)

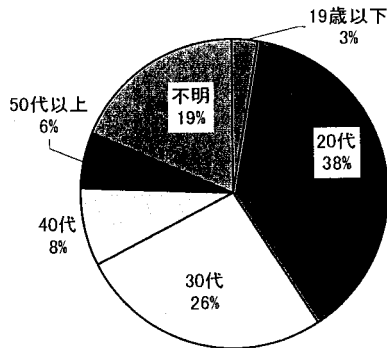
東京都南新宿検査・相談室  
 (土日、平日夜間 HIV検査)

多摩地域HIV即日検査(月2回土曜)

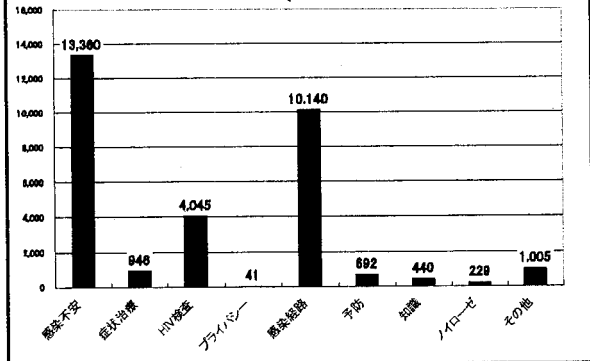
## エイズ電話相談件数



### 相談者の年齢（平成18年）



### 相談内容(平成18年)



### 東京都南新宿検査・相談室

新宿駅南口徒歩3分

平日夜間、土日に検査

月～金曜日 15:30～20:00

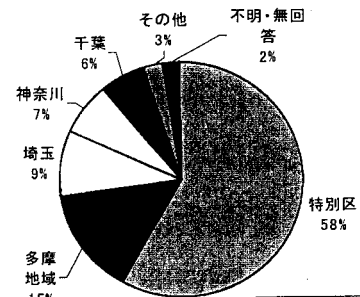
土・日曜日 13:00～17:00

無料匿名

要予約 03-3377-0811



### 南新宿検査相談室における検査受検者の居住地



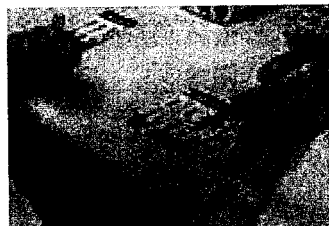
平成18年 9,239件

### 多摩土曜即日検査

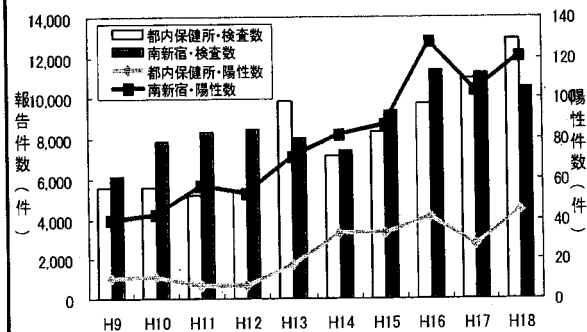
毎週土曜日(平成19年度に拡充)

受付13:30～15:00

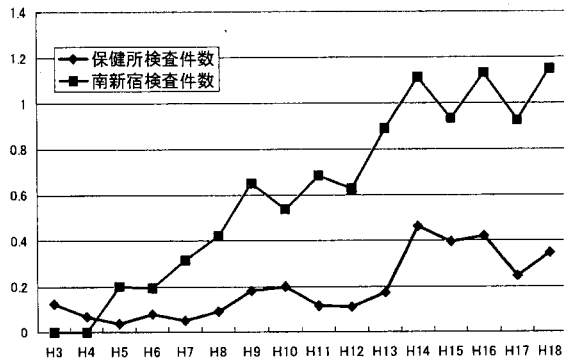
先着50名



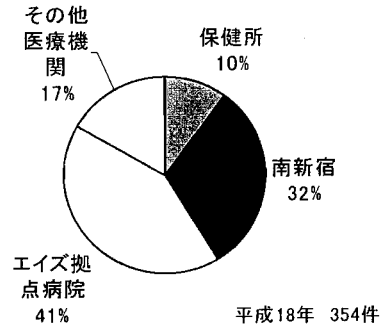
### 東京都の検査件数と陽性件数



### 東京都におけるHIV検査での陽性率



### 東京都HIV感染者の医療機関別報告割合(平成18年)



### 医療体制の整備

- 1) 協力病院の確保及び支援  
エイズ診療協力病院52病院
- 2) 医療機関のネットワーク化  
運営協議会、歯科紹介事業
- 3) 研修・講習会・症例懇話会

### 医療体制の整備 協力病院の確保・支援

- 拠点病院施設整備
- 拠点病院42病院
- 連携病院10病院
- 医療従事者の研修会



### エイズ歯科診療所紹介事業

身近なところで歯科診療を受けたい  
拠点病院すべてに歯科があるか？



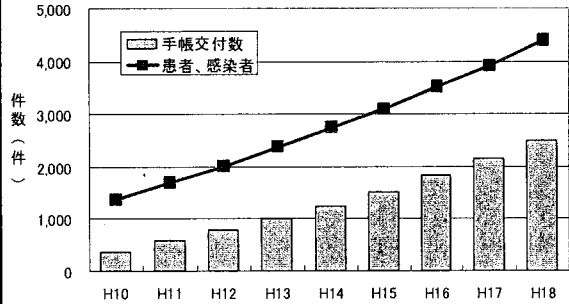
- 地域に感染者・患者の歯科診療を行う「エイズ協力歯科診療所」を確保
- エイズ拠点病院とエイズ歯科診療所の間での紹介システムを構築

### 療養支援体制の確保

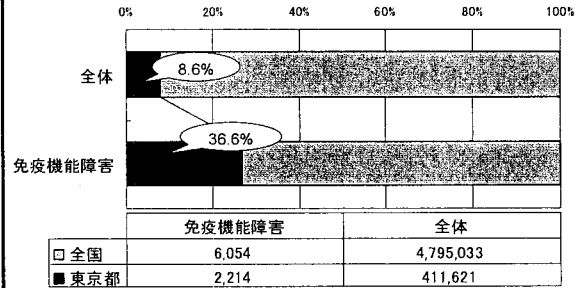
- 地域でのサポート  
保健・福祉・医療、教育、NPOによる「地域連携推進協議会」
- エイズ専門相談員の派遣  
日本語、英語、タイ語
- 福祉サービス  
障害者手帳の交付



### 障害者手帳の交付件数



### 免疫不全障害は都に集中

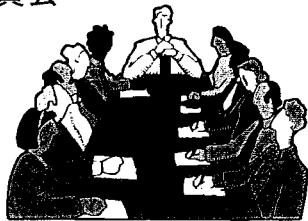


	免疫機能障害	全体
□ 全国	6,054	4,795,033
■ 東京都	2,214	411,621

平成17年度 福祉行政報告例(障害者手帳交付台帳登録数)

### 調査研究

エイズ専門家会議  
疫学小委員会

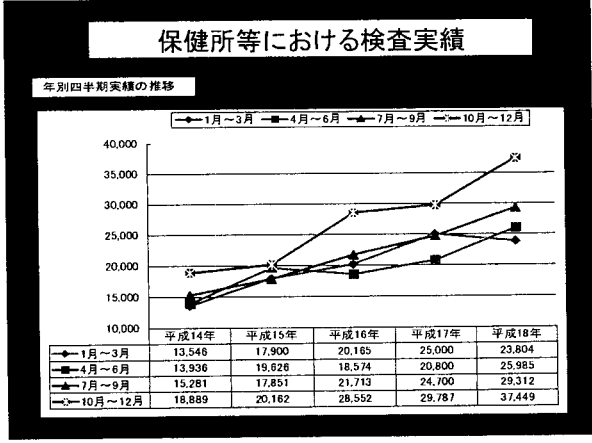
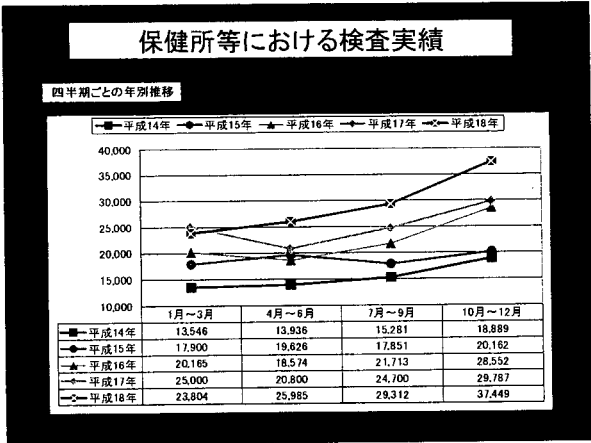
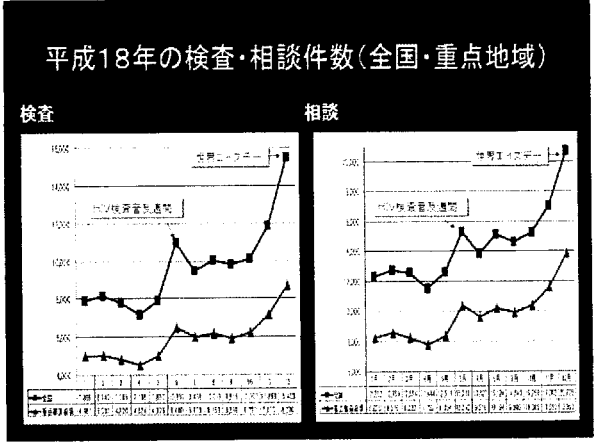


ご静聴  
ありがとうございます。  
ございました。



## 平成19年度 HIV検査普及週間について

厚生労働省健康局疾病対策課



### エイズ検査「無料」「匿名」受診認知 (ヤフー株式会社による調査の結果)

3 エイズ検査に無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。また、匿名検査を受ける方が増えています。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

4 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

5 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

6 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

7 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

8 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

9 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

10 無料、匿名のサービスが普及する。匿名検査は、検査結果の通知方法も、検査費用も実質ゼロです。匿名検査の認知は、どの程度ですか？

### 調査概要

■プレ調査  
2006年10月30日～11月1日  
調査対象: Yahoo!リサーチモニター  
抽出条件: 男女15-39歳  
回収数: 10,351人

■本調査  
調査時期: 2006年11月2日～11月7日  
抽出条件: プレ調査回答者で、本調査への回答受諾者  
回答者数: 1,341人



### 街頭キャンペーン(予定)

6月1日～7日の「HIV検査普及週間」の告知及びHIV検査の浸透・普及のために、山本シュウ氏や松竹芸能所属のお笑いタレントの皆さんによる啓発イベントを実施するとともに、学生ボランティア団体・企業等の協力を得てパンフレット等の配布を行う。

日時:平成19年5月28日(月)、5月31日(木)

場所:東京(渋谷、新宿、池袋)、大阪(予定)



## 平成19年度HIV検査普及週間の活動案

### 1 目的

国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のHIVやエイズに対する関心を喚起し、もってHIV検査の浸透・普及を図るため、キャンペーン活動等を実施する。

### 2 期間

平成19年5月下旬から6月7日（木）まで  
（週間 6月1日から6月7日まで）

### 3 厚生労働省が実施するイベント等の概要

#### (1) 特に重点的に連絡調整すべき自治体地域をカバーする FM 局を中心に検査普及週間の告知

- HIV 検査普及週間及び検査実施期間等の実施について番組での告知
- 放送予定局 東京 FM、FM 愛知、FM 大阪、FM 富士、FM 長野、FM 沖縄

#### (2) 街頭キャンペーン

山本シュウ氏及びお笑いタレント（松竹芸能）による啓発イベントを実施するとともに、エイズ予防財団を中心にボランティア等の協力を得て、チラシやパンフレット、グッズ等をセットにして街頭にて配布

#### ○実施場所（予定）

- 東京都：渋谷、新宿、池袋
- 大阪府：アメリカ村

#### ○実施日（予定）

- 東京 5月28日（月）
- 大阪 5月31日（木）

(3) ポスター・パンフレットによる啓発

啓発ポスターの配布 (45,000 部)

○自治体、保健所等

○全国公衆浴場業生活衛生共同組合連合会

○全国興業生活衛生共同組合連合会

掲示期間：週間前後1ヶ月程度

○交通広告 JR、私鉄及び地下鉄各線

掲示期間：5月上旬から6月7日までのうち、任意の3日間

啓発パンフレットの配布 (200,000 部)

○自治体、保健所、拠点病院

(4) エイズ予防財団の媒体による情報提供

API-NET

○トップページでの周知

○検査実施機関の詳細、各機関の週間中のイベント等の紹介

エイズリポート

○週間についての記事の掲載

# 平成19年度のHIV検査相談体制及びHIV検査普及週間の取り組みについて (重点都道府県等)

団体名	夜間検査		休日検査		迅速検査		イベント	18年度実施状況	19年度実施予定
	平常	週間	平常	週間	平常	週間			
茨城県	○				○		検討中	・HIV検査普及キャンペーン(パンフレット、グッズの配布 ・ヤングボランティア講座(講座参加の高校生に対し、ピアカウンセリングの実施)	・講演会、街頭キャンペーン等イベントを実施予定 ・現在、県から保健所に対して、普及週間中の実施強化について依頼していることである。
埼玉県	○		○		○		検討中	・県の広報紙等を活用した普及啓発 ・県内の主要駅及び大学等でHIV検査情報入りのポケットティッシュ等を配布	・県の広報紙、ラジオ等を通じて普及啓発 ・HIV等に関するパンフレット作成し、配布する予定
千葉県	○				○		検討中	・特になし	・スポーツイベント会場や大学等でのイベント検査の実施を検討中
東京都	○		○		○	検討中	○	・エイズ啓発拠点事業「ふぉーてぃー」と連動して講演会等を実施	・エイズ啓発拠点事業「ふぉーてぃー」と連動して講演会等を実施
神奈川県	○	●	○	●	○	●	○	・検査普及週間に合わせ、即日検査実施社会保健福祉事務所を4カ所増やし、テレビ、広報等により、検査をPRした。	・検査普及週間に合わせ、即日検査と普及啓発イベントを開催予定 普及週間中は夜間及び休日検査の実施回数を増加する予定
山梨県	○			●	○			・各保健所でパンフレット、冊子、ティッシュ等を配布	・各保健所でパンフレット、冊子、ティッシュ等を配布予定
長野県	○	●		検討中	○	●	検討中	・駅前、高校、大型店等で開発活動(啓発グッズ配布) ・大型店、公民館での出張相談、検査の実施	・人通りの多い場所での啓発活動(啓発グッズ配布) ・出張相談、休日検査の実施
愛知県	○			●	○	●	○	・報道発表やラジオ、HPでの告知	・地域密着型のフリーペーパーに広告掲載 ・映画館の幕間で広告を放映 ・ラジオ・テレビ・ホームページでの告知
大阪府	○	●	○		○		検討中	・啓発ポスターの掲出 ・啓発パンフレットの配布	・検討中
沖縄県	○	●			○	●	検討中	・大型スーパー等でのパネル展、チラシの配布	・若者が集まる場所での検査・相談を検討中
さいたま市	○			●		●	検討中	・さいたまシティカップ2006で、試合前、ハーフタイム、に横断幕での告知やハーフタイム中いオーロラビジョンでの啓発VTRの放映	・さいたまシティカップで、試合前、ハーフタイム、に横断幕での告知やハーフタイム中いオーロラビジョンでの啓発VTRの放映
千葉市	○	●					検討中	・特になし	・千葉県と連携してイベントを検討中
川崎市			○		○	●	○	・特になし	・川崎駅自由通路でキャンペーンを実施 ・川崎市内HIV検査案内等のリーフレットを配布
横浜市	○		○		○		検討中	・HIV啓発用ブースを設置しグッズ、検査。相談窓口案内等を配布	・実行委員会を立ち上げイベントを検討する予定
名古屋市	○		○		○			・HIV検査普及週間に合わせて地下鉄車内等にポスターを掲示し、検査をPR	・HIV検査普及週間に合わせて地下鉄車内に検査PRステッカーを貼付し、検査をPR
大阪市	○	●	○		○			・特になし	・特になし

○は平常から実施している自治体(19年度予定含む)

●は検査普及週間に実施を強化する自治体

迅速検査…迅速検査キットを使い即日に結果を返している自治体  
夜間検査…保健所閉所(17時)以降に検査を実施している自治体  
休日検査…土日に検査を実施している自治体

## 平成19年度「H I V検査普及週間」実施要綱

## 1 趣 旨

H I V感染者・エイズ患者新規報告数は、依然として増加傾向にある。平成16年にはじめて1,000件を突破した新規報告数は平成17年も前年を上回り、平成19年2月7日に開催されたエイズ動向委員会の発表によると、平成18年（速報値）においても続けて過去最高を記録するなど、予断を許さない状況となっている。

また、診断時には既にエイズを発症している事例が約3割を占めており、これは、早期発見のための検査機会を逸していることによるものと考えられる。

これまでも保健所や検査室等においては、無料・匿名でH I V検査を行うとともに、利用者の利便性に配慮した検査・相談体制の構築を進めてきたが、今後はより一層こうした取組みの推進が求められている。

そこで、H I V検査普及週間（以下「本週間」という。）を機会に、国や都道府県等（都道府県、保健所を設置する市及び特別区を言う。以下同じ）が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のH I Vやエイズに対する関心を喚起し、もってH I V検査の浸透・普及を図ることとする。

## 2 期 間

平成19年6月1日（金）～7日（木）

## 3 主 唱

厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

## 4 主 題（キャッチフレーズ）

各都道府県等によって適宜定めるものとする。

なお、H I V検査ではなく、広く理解されやすくなるよう「エイズ検査」という名称を用いても構わない。

（例：「エイズ検査は、あなたにも必要です」等）

## 5 実施方法

## (1) 厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

本週間に係る全国的なキャンペーン活動を行うとともに、期間内における検査の日程及び会場等について、プレス発表等を通じて全国一斉に紹介することにより、広くH I V・エイズに対する関心の喚起を図る。

また、H I V検査や相談・カウンセリングに係るマニュアル等を作成するなど、

検査や相談に係る情報提供を行うことにより、都道府県等が行う検査・相談に対する技術的支援を行う。

## (2) 都道府県等

検査受診者の立場に立ち、地域における特性を踏まえながら、利便性やサービス向上に配慮した検査・相談体制の整備促進を図り、これにより、H I V検査が地域住民にとって身近なものと捉えられるよう環境整備に努めること。

具体的には、平日夜間や土日における検査といった時間外検査や、迅速検査の実施はもとより、H I V検査の普及を図るため、イベント等集客の多い機会と連動した検査の実施などを行う。

また、エイズに係る正しい知識の普及啓発を進めるとともに、検査・相談の利用に係る情報につき、積極的な広報に努める。

## 6 留意事項

H I V検査や相談に当たっては、検査受診者のプライバシーの保護に十分配慮するとともに、検査前及び検査後の相談の機会を、受診者個々人の行動変容を促す絶好の機会と位置付け、適切な相談を行うよう努めること。また、陽性が判明した場合については、医療機関の紹介等にあたり十分に説明する等配慮すること。

## 7 その他

なお、本週間における当検査・相談の実施については保健事業費等国庫負担（補助）金「特定感染症検査等事業（H I V抗体検査及びエイズに関する相談事業）」の補助対象であること、また検査・相談とあわせて行うイベント等については、「エイズ対策促進事業」の補助対象であることを申し添える。

## 重点都道府県における HIV抗体検査実績と検査普及週間の取り組みについて

	H I V抗体検査実績（平成17年→平成18年）			平成19年度H I V検査普及週間の計画
1位	長野県	1,755 → 2,663	51.7% 増	強化
2位	茨城県	1,255 → 1,664	32.6% 増	強化について検討中
3位	沖縄県	1,930 → 2,547	32.0% 増	強化
4位	愛知県	6,435 → 7,917	23.0% 増	強化
5位	千葉県	3,763 → 4,623	22.9% 増	強化について検討中
6位	神奈川県	7,915 → 9,620	21.5% 増	強化
7位	山梨県	600 → 716	19.3% 増	強化
8位	大阪府	12,195 → 14,044	15.2% 増	強化
9位	東京都	22,220 → 23,446	5.5% 増	検討中
10位	埼玉県	3,903 → 3,670	6.0% 減	検討中